

ねっとわーく

市町村のページ〔特集：特色ある公民館活動〕

- グラウンドを有効活用したい！！
……………長尾公民館（福岡市城南区）
- 公民館講座とボランティア活動
……………岡垣町中央公民館
- 誰もが安心して過ごせる居場所づくり
……………久留米市安武校区コミュニティセンター
- 終活から健康づくりへ
～生涯学習講座「今を生きるための終活講座」～
……………上毛町中央公民館

こちら県公連

- 第63回福岡県公民館大会報告

平成30年11月 公民館情報通巻142号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575

福岡市博多区東公園7-7

福岡県教育庁教育振興部社会教育課内

TEL 092-643-3887

FAX 092-643-3889

シリーズ：特色ある公民館活動

◆芋苗植え◆



長尾公民館

◆子ども講座ボランティア◆



岡垣町中央公民館

◆折り折りおしゃべり会◆



久留米市安武校区コミュニティセンター

◆フレイルチェック◆



上毛町中央公民館

（写真は本文にも掲載）

グラウンドを有効活用したい！！

長尾公民館

【地域の概要及び経緯】

長尾校区は福岡市の中心部に近く、中央区、南区に隣接している校区です。

校区内を油山観光道路が縦断し、沿道は量販店や多くの小売店などで活況を呈しています。人口は約 13,000 人、6,300 世帯で人口推移は横這いですが、高齢化率は 23% と増加傾向にあります。

長尾公民館は昭和 27 年、市内最初に開設された 10 公民館のうちの一つです。

また長尾公民館の特徴は併設されている約 1,500 m²のグラウンドの存在です。

【グラウンドでの活動内容】

特徴である広いグラウンドでは、グラウンドゴルフ場としてサークル活動、長尾小学校のクラブ活動が行われ、また餅つき大会、豆まき、キャンドルナイトなどが開催されています。公民館事業としては「昔遊びのひろば」として四季折々の企画をしています。

～ 昔遊びのひろばの紹介 ～

春はサツマイモ苗植え・・・地域の方の協力を得てグラウンドに畝（うね）を作りました。今年は大雨により盛った畝が流れ、また、苗植え後は雨不足のため、まめに散水をするなど、目が離せませんでした。

夏は七夕・・・講座で折り紙、短冊づくりを実施しました。一般の来館者にも自由に短冊に願いを込めて飾っていただきました。

秋は芋ほり・・・幼児から高齢者まで皆で芋を掘り、その後お芋料理を頂きました。

冬は凧揚げ・・・身近な材料で凧作りをしました。簡単に作成できる凧づくりキットも準備していましたが、予想に反して身近な材料（レジ袋とストロー）で作成する方が子どもたちには人気でした。レジ袋の凧は、少しの風でもよく飛ぶので、子どもでも簡単に揚げられ、楽しそうでした。寒い日でしたが、子どもはもちろん大人も童心に返りグラウンドを駆け回りました。



【芋苗植えの様子】



【凧揚げの様子】

【成果と課題】

グラウンドを活用した事業として「昔遊びのひろば」を企画し、2年目となります。民家と隣接しているため、騒音などに配慮しながらの開催です。

参加者の顔触れは新しく、人材発掘につながる事業になるのではないかと感じます。公民館を身近に感じる人を一人でも多く増やし、さまざまな意見を聞く機会を広げたいと考えており、そのためにも事業の内容や広報に工夫を重ね、参加者を増やす努力をしたいと思います。

【問合せ先】 長尾公民館

〒814-0123 福岡市城南区长尾 1 丁目 3-14

TEL 092-871-5619 FAX 092-871-5198

【町の概要及び経緯】

岡垣町は福岡市と北九州市の中間に位置し、海や山など自然環境に恵まれた人口約3万2千人の町です。岡垣町教育委員会では20歳以上の町民を対象に「若潮学級」と「成人講座ゆうま」という2つの講座を柱として開設しています。この講座はともに「自己の生きがいづくり」を主なねらいとし、平成18年度には「学習機会の提供」にとどまらず、「学習の成果を活かしたボランティア活動の実施」をコンセプトに加え、受講生の自己有用感を高めて、より一層ねらいが達成できるようにしました。

【活動内容】

若潮学級は、午前中に教養講座に参加し、午後からは専門コースに分かれて学習します。成人講座ゆうまは、教養講座はなく、専門コースのみの学習となります。受講生の募集を行う際に、両講座とも「ボランティアに参加」することを推進しています。また講座は自主運営となっており、班長等の係を互選し、会場準備から司会進行、後片付けなども受講生が行っています。



【写真1：教養講座の様子】

受講生は様々なボランティア体験をします。主に小学校の要請によって学校に出向き、授業などの支援を行う学校支援ボランティア、公民館で夏・冬休みに行う子ども講座のボランティア等があります。学校支援ボランティアでは小学校の「書写」「家庭科(調理・洋裁)」「昔遊び」などの補助を行った実績があります。子ども講座は小学生のみ参加の「チャレンジスクール」と保護者と参加する「ファミリーふれあい教室」があります。チャレンジスクールでは講師1人で30人程度の対応は困難なため、受講生が講師のサポートをします。ファミリーふれあい教室の陶芸に至っては、作陶・素焼き・色付・本焼きの作業があるため、陶芸の知識と技術を持つ受講生のサポートがとても重要となります。



【写真2：子ども講座のボランティアの様子】

【成果と課題】

アンケート結果から、講座の内容については満足頂いている様子であり、皆さんが熱心に受講されていることも伝わってきます。またボランティアについても、子どもたちからお礼を言われたりすることで、自分の活動が役に立っているという実感を持つことができます。公民館講座の体験をもとに、地域の活動に参加し始めた人は少なくありません。課題は、受講生が固定化し、高年齢化が進んで、ボランティアの参加が限られてきたことと、講座と要請される内容が合致せず十分対応できていないことです。今後は町内施設での活動に自主的に取り組めるよう、他の機関と連携を図りたいと思います。また誰もが楽しく講座に参加し、自己実現と社会貢献ができるよう、受講生の協力体制も強化していきたいと考えています。

【問合せ先】 岡垣町中央公民館

〒811-4242 福岡県遠賀郡岡垣町吉木西1丁目1番1号

TEL 093-282-0162 FAX 093-282-3330

誰もが安心して過ごせる居場所づくり

久留米市安武校区コミュニティセンター

【地域の概要】

安武校区は久留米市南西部に位置し、北部から西部にかけて筑後川に面したのどかな純農村地区です。JR久留米駅にも近く、市街地に近接しながら、ほぼ全域が市街化調整区域・農業振興区域であるため、都市化が抑制されています。恵まれた自然環境の中で、四季の移ろいを体で感じることができます。

【事業実施の経緯】

安武校区では、共働き世帯やひとり親世帯が増加しています。また、塾や習い事等に忙しい日々を過ごしている子どももおり、「居場所がない」「意思疎通が苦手」な子どもたちが増加しています。さらに、情報機器（パソコン・スマホなど）の所持率は年々上昇し続け、問題行動やネットトラブルも急増しています。そして、保護者世代は子育てに不安を抱えているものの、地域社会で孤立しているため、話し相手もいないという実態があります。そのような中、「地域社会で子育てを支えることはできないだろうか」と考え、様々な取組を実施しています。

【安武塾】

平成26年度より、「学習習慣の定着」「子どもの居場所づくり」「社会性を育む」ことを目的として、高額化する学習塾費用の負担減と多感な中学生を地域で見守るため、中学生を対象に、「安武塾」を開講しました。基本は、毎週土曜日の午後3時から5時までとし、地域学校協議会の協力を受け無料で実施しています。主に宿題や復習を中心に生徒の質問に答える形式をとっています。さらに、社会性を育む一環として「校区まつりでのゴミ分別回収係」や「赤い羽根共同募金における街頭募金」など、校区内のボランティア活動への参加を促しています。ここで学んだ子どもたちが、将来地域の担い手となり活躍してくれることを期待しています。



【折り折りおしゃべり会・安武パパママカレッジ】

「校区内で気軽に悩みを共有できる仲間」そんなきっかけづくりを目的として、フリーペーパーの配布作業の一部である「折り折りおしゃべり会」を月に1回実施しています。当日はコミュニティセンターで、子どもの元気な笑い声やお母さんたちのおしゃべりがにぎやかに弾んでいます。

さらに今年度より、ステップアップとして様々な学びを得るために、保護者の学習の場として「安武パパママカレッジ」を毎月第4火曜日に開講しています。これまでに、生きがいつくり・食育・ヨガなどを実施してきました。今後は人権啓発推進や男女平等推進に関する講座も実施していく予定です。



【問合せ先】 安武校区コミュニティセンター

〒830-0071 福岡県久留米市安武町武島808

TEL 0942-26-4888

FAX 0942-26-4898

終活から健康づくりへ

～生涯学習講座「今を生きるための終活講座」～

上毛町中央公民館

【地域の概要】

上毛町は、福岡県の最も東に位置し、山国川を挟んで大分県中津市と隣接する緑豊かな町です。町の成り立ちとしては、旧新吉富村と旧大平村が平成17年に合併して誕生しました。人口はおよそ7,670人で合併時からすると人口が減少傾向にあります。特に山間部における人口減少が大きいですが、地域づくり活動も活発に行われており、若者の定住化促進や少子化対策などにつながる事業が展開されています。

【講座のねらい】

高齢者を対象に、「お金」「介護」「健康」など生活する上で欠かすことのできない題材を用いて、自立のための学びの機会を提供しています。自分らしく今を生きるにはやはり健康であることが一番という意識を持ってもらうことを第一の目的に「今を生きるための終活講座」を開講しました。



【第3回 自分の物とライフスタイル】

【講座内容】

第1回は「老後の人生設計」というテーマで「お金」について、第2回は「自分らしさから選ぶ最期」というテーマで「介護」について、第3回は「自分の物とライフスタイル」というテーマで「生前整理」について講座を行いました。

そして、第4回は町の長寿福祉課と連携して健康寿命の延伸を目指すため介護予防の取組として実施している「フレイル対策事業」について理解を深めました。フレイル対策については、町認定のフレイルサポーターの協力を受けながらフレイルチェックを行い、受講者自身が自分の健康状態を知ることができました。



【フレイルチェックの様子】

フレイル

年齢を重ね、筋力等心身の活力が低下した状態を「フレイル」といいます。多くの人が健康な状態からこのフレイルの段階を経て、要介護状態に陥ると考えられています。

【成果と課題】

60代～80代と幅広い層の方々に受講いただき、第4回のフレイル対策では受講者が自身で健康状態をチェックするなど、自分の健康への気づきから、健康づくりに積極的に取り組むきっかけとして有意義な講座となりました。「社会とのつながりを失うことがフレイルの最初の入口」と第4回の講師が説明されていたように、今後は健康づくりや地域づくりなどの課題について関係部局とより一層連携して魅力ある講座を開設していく必要性を感じています。

【問合せ先】 上毛町教育委員会教務課社会教育係
〒871-0992 福岡県築上郡上毛町大字垂水 1321 番地 1
TEL 0979-72-3165 FAX 0979-84-8021

第63回福岡県公民館大会報告

第63回福岡県公民館大会を、平成30年8月10日（金）、イイヅカコスモスコモン（飯塚市）において開催し、県内各地から公民館に関わる823名の方々に御参加いただきました。

近年、少子高齢化、高度情報化、都市化・過疎化の進行、生活様式や価値観の多様化等、社会情勢の急激な変化によって、地域の担い手不足や人間関係の希薄化などが懸念され、いかにして持続可能で活力ある社会を構築していくかが問われています。

そこで、本大会では、県内の公民館関係者等が集い、県内外の実践の紹介や協議をとおして、地域づくりの拠点として、地域から必要とされる公民館の在り方について学びあうことで、持続可能な地域に向けた公民館の今後の在り方について再認識し、日頃の取組への熱を高めるとともに、より一層の公民館活動の充実と発展をめざすことを趣旨として開催いたしました。



【開会行事の様子】



大会式典の表彰式では、地域の公民館活動の振興に顕著な御功績があった34名の方々に、福岡県公民館連合会から表彰を行いました。表彰を受けられた皆様には、これまでの御尽力に対しまして、心から敬意を表します。

【表彰式の様子】

大会式典後、香川大学地域連携・生涯学習センター准教授の山本珠美氏から「地域を元気にする公民館の仕掛け～住民参画による地域の課題解決が活性化の鍵～」と題して御講演いただきました。

岡山県公民館連合会の取組を事例に、地域の課題を逆手に取った企画や、青少年主体で企画・実施した取組など、地域住民が公民館活動に参画しながら、地域の課題を解決している取組や、地域の特色を生かした様々な取組を御紹介いただきました。地域住民をいかに公民館活動に参画させるか、その仕掛けが公民館の役割であるといった、今後の活動の道筋を御示唆いただきました。



【講演の様子（山本 珠美 氏）】



【インタビュー・ダイアログの様子】

午後のインタビュー・ダイアログでは、「地域を元気にし、住民から必要とされる公民館」と題して、九州女子大学教授の大島まな氏にコーディネートしていただき、①福岡市警固公民館の南幸盛氏、②香川県高松市大町コミュニティセンターの片山あゆみ氏、③香川県高松市立牟礼小学校の黒川幸宣氏に御登壇いただきました。それぞれの公民館やコミュニティセンターでの取組について紹介していただき、事業構築の上で重要視していることや企画段階での工夫点、学校の教育

課程にコミュニティセンターの事業を取り入れた取組による効果、地域人材の育成等について活発な意見交換が行われ、地域を元気にする公民館の役割などを共有する場となりました。

最後に山本珠美氏に講評をしていただきました。地域の特性を生かし、様々なNPO等と協働した取組の価値やコミュニティセンターの存在意義、公民館が「我々による我々のための公民館」であり続ける意味についてまとめていただき、今後の福岡県の公民館のあるべき姿や方向性を確認することができました。

本大会を開催するに当たっては、特に、開催地区である筑豊地区の皆様の御尽力により成功裡に終わることができました。心より感謝いたします。

来年度は、京築地区の苅田町立中央公民館におきまして、7月26日の開催を予定しております。参加された皆様からいただいたアンケートの結果等も参考にさせていただき、さらなる大会運営の改善に努めてまいりますので、今後とも公民館活動の充実・振興のために御協力いただきますよう、よろしくお願ひします。